

坂井市 まちづくり カレッジ

第8期 全12回講座
2024年6月～2025年2月

講義概要

今期のまちカレは—— しあわせが実感できる坂井市へ

皆さんは、坂井市で暮らす「しあわせ」を、どのように感じていますか。

「しあわせ」は、誰かに与えてもらうものではなく、地域のさまざまな課題を住む人同士で考え、解決しながら、創造していくものです。

今期のまちカレでは、しあわせが実感できるまち——未来に希望がもてる地域社会の実現に向けて、身近な人たちがつながり、支え合い、助け合える関係づくりを考えます。

そして、一人一人が自分の能力や可能性を十分に発揮していける地域づくりを目指します。

対象

まちづくり協議会および地域ボランティア団体、
高校生・大学生など

会場

市内のコミュニティセンター
(毎回変えて実施します)

講師

アルマス・バイオコスモス研究所

水上 聡子 氏

講座のポイント

- well-being(※1)について学び、well-beingの視点で地域課題を分析することで、地域課題を自分ごととして感じ取る感受性を磨きます。
- 第7期まちカレで作成した坂井市独自の8つのwell-being指標(右図)を用いて、主観的・直観的認識から地域課題を捉える力を養います。
- 地域の課題を見つけやすくするために、ミステリー法(※2)とジグソー法(※3)により、地域課題を体験型で包括的に学びながら、システム思考や戦略的・統合的に問題を解決する能力を高めていきます。
- 第7期生からカレッジの学びを生かしたその後の取り組みを聞き、学びを行動へと具現化していく道筋を学びます。
- まちカレ修了後に、興味のある分野や自分の住む地区でアクションプランを実現していく意識と実行力をもつ“フロントランナー”を育てます。
- プランの精度を上げながら、自分たちでスライドを完成させます。

(※1)まちづくりカレッジでは、well-being(しあわせ実感)を、「このまちに住み続けることで得られるしあわせ」と捉えます。

(※2)地域によくあるミステリアスな困りごとがなぜ起きているのか、31枚のカードを使って、坂井市のいろんな問題を関連付けながら、楽しく謎解きします。

(※3)地域の安全安心や持続可能性に関するデータ類を読み解きながら、坂井市の課題や可能性を考え、ジグソーパズルを解くように、1つの未来像と実現のための方法を探ります。

童話 青い鳥 と 今期のまちカレ

童話「青い鳥」でチルチルとミチルの兄妹は、魔法使いのおばあさんに頼まれて青い鳥を探しますが、どんなに遠くへ旅しても手に入れることはできませんでした。家に帰った二人は、自分たちが飼っていた鳥が青い鳥だったことに気づきます。まちカレでは、外を見るよりも足元の地域をじっくり掘り下げ、身近な「幸せの青い鳥」を探します。

第7期まちづくりカレッジで採択！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

坂井市を変えるための8つのwell-being指標



学びの基礎を築く

第1回 日時 6月15日(土)9時30分～11時30分 場所 高棕コミュニティセンター

Well-beingな感覚を味わおう

「このまちに住むことの幸せって何?」「モノに不自由しない幸せと何が違うの?」「その幸せって、今すぐ実感できるものなの?」

身近な地域にある、住民同士が信頼し合ったり、支え合ったりできる関係性が、幸せ実感のカギとなります。私たちが地域でwell-beingな日常生活を実現するためのヒントを探ります。

■開講式

■解説

坂井市のwell-beingの現状と課題

■ワーク

わたしと地域のwell-being

第2回 日時 7月5日(金)19時30分～21時00分 場所 春江東コミュニティセンター

坂井市のWell-beingを分析しよう

坂井市と一言でいっても、三国から丸岡まで、地域によって特徴はさまざまです。当然、そこに住む人の価値観も違うはず——。

ということで、坂井市全体や、各地域におけるwell-beingの現状と課題を浮き彫りにしてみましょう。これからどんなwell-beingなまちを目指していけるのかを考えます。

■解説

well-being 8つの指標

■ワーク

坂井市のwell-beingの現状と課題、これから目指す姿

第3回 日時 7月26日(金)19時30分～21時00分 場所 江留上コミュニティセンター

Well-beingと内発的動機づけ

幸せ実感の地域づくりは、誰かが与えてくれるのではなく、私たち自身がそれに関心を持ったり、行動したりすることから始まります。

内発的動機づけとは何か。課題解決型地域づくりにとって、なぜ必要なのか。内発的動機づけによりwell-beingを高めていくための方法を学びます。

■解説

課題解決を目指すwell-being指標

■ワーク

地域づくりのwell-being指標アイデア

学びを発展させる

第4回 日時 8月16日(金)19時30分～21時00分 場所 高棕東部コミュニティセンター

Well-beingでシステム思考を身につけよう

オリジナルのカード型教材「坂井市版地域づくりミステリー」を用いて謎解きしながら、課題解決型地域づくりに不可欠な「システム思考」について学びます。

日頃からよく目にする「あるある」な光景の中に、どんなwell-beingの課題が隠れているのでしょうか。

■ワーク

坂井市版地域づくりミステリー体験
システム思考によるwell-being分析



▲坂井市版ミステリーカード

統合的課題解決能力を高めよう

ジグソー法を用いたオリジナル教材「坂井市版課題解決ワークショップ」を体験しながら、課題解決型地域づくりに不可欠な「戦略性」や「統合的問題解決能力」を学びます。well-beingなまちを目指すには、どのような未来像が必要でしょうか。

- ワーク
坂井市版ジグソー法課題解決ワークショップの体験、well-being分析

先進地区に学ぼう

まちづくりカレッジでの学びが、その後どのように地域に根差していったのか、well-beingの8つの指標に基づきアクションプランを作った第7期生から修了後の取り組みについて話を聞きながら、学びを行動へと具現化していく道筋について学びます。

- 解説
第7期生のwell-beingな取り組み
- ワーク
第7期生への質問

自分のまちの まち協への応用1

さあ、いよいよ第12回の発表会に向けて、自分の住む地区をベースに、幸せを実感できる地域づくりへの道筋を組み立てていきます。まずは、well-beingの8つの指標を用いて、地区の課題と可能性を整理する手法を学びます。

- 解説
第12回プレゼンスライドのフレーム
- ワーク
自分の地区の課題と可能性

自分のまちの まち協への応用2

第7回に引き続き、地区の未来像とプランを考えていきます。自分が住む地区ではどのような課題解決を目指そうとするのか、well-beingの8つの指標からアクションプランを具体的にしていきます。そして、プレゼン用スライド作成の準備に入っていきます。

- 解説
地区の未来像とプランの設定
- ワーク
自分の地区の未来像とプラン

自分のまちの まち協への応用3

第8回で考えたアクションプランの精度をさらに上げていきます。そのプランによって何を解決しようとするのか、実現のために乗り越えるべき課題は何か、内発的に動機づけられるかなどについてチェックしていきます。

- 解説
アクションプランの精度を上げる
- ワーク
アクションプランのブラッシュアップ



学びを終結させる

第10回 日時 1月24日(金)19時30分～21時00分

場所 磯部コミュニティセンター

自分のまちの まち協への応用4

魅力的なスライドを作成するために、ナッジ理論について学びながら、スライドの作成を進めます。地区ごとに相談しながら、手分けして作業を進めます。well-beingを浮き彫りにするために必要なナッジとは。幸せが伝わるスライドを目指します。

■解説

ナッジ理論とwell-being

■ワーク

デザイン重視のスライド作成作業

第11回 日時 2月7日(金)19時30分～21時00分

場所 大石コミュニティセンター

自分のまちの まち協への応用5

スライドの細部を磨き上げ、完成させます。
発表会前日のリハーサルに向けて、グループの発表担当を決め、練習しながら最後のブラッシュアップをしています。


■ワーク

プレゼン練習とフィードバック

第12回 日時 2月23日(日)9時30分～11時30分

場所 高棕コミュニティセンター

プレゼンテーション 学びの成果を分かち合おう

第8期の集大成です。一年間の学びを振り返り、受講生がどのように変化したのかを学ぶとともに、各地区のプレゼンテーションを通して、これから展開していくアクションプランを紹介します。
会場からのエールや講評などにより、学びの成果を締めくくります。
ずっと住み続けたいまちへのカギとなるwell-beingとは――。

■解説

全12回の成果(スライド、講義)

■プレゼンテーション

地区別プレゼンテーション

■メッセージ

会場からのエール、代表者スピーチ

連絡事項

- 各講義の案内は、7 日ほど前にメールでお送りいたします
- 資料や班分け等の準備がありますので、欠席する場合は、必ず事務局まで事前にご連絡ください。
メールでOKです
- その他、講義や運営について不明な点な等がありましたら、事務局までご連絡ください